

福島県会津若松市の地域再生計画

アナリティクス産業の集積による 地域活力再生計画

作成主体	会津若松市
区域	会津若松市の全域
計画期間	H26～H31年度



首都圏ICT企業群の機能移転のための専用オフィスビル



地域の各データを集約、サービス提供を行う市民ワンストッププラットフォーム

◆背景

- 工場閉鎖、拠点の海外シフトに伴う製造業を中心とした地元企業の規模縮小（地元企業の事例）：
約4,300人（H20以前）→約1,600人（H25）
- 地域大学卒業生の首都圏への流出：地元就職率22%（H24）
- 少子高齢化の進行：老年人口割合27%（H22）→33%（H42）

◆目標

- ICT専門大学である会津大学の強みを生かし、今後需要が増していくことが確実なアナリティクス産業を本市に集積することで、ICT関連企業誘致を含めた地域活性化、データに基づく持続可能なまちづくりを推進して地域再生を図る

【数値目標】

- アナリティクス人材（ビジネス等の問題に関して、データ分析を通じて意思決定を行うことのできる人材）の輩出：
約20名（H26見込み）→100名（H31）
- 職場環境を整備し、若者の地元定着を実現するためICT関連事業を誘致：年間3事業（H25）→年間5事業（H31）



◆取組

- ICT関連企業集積のためのオフィス環境整備事業
ICT関連企業が会津若松市に機能移転できる環境（専門オフィスビル）を整え、企業誘致をすることで会津大学卒業生などが就職する魅力的な雇用環境を創出
- 地域ワンストップポータルプラットフォーム整備事業
市民特性に応じた医療・健康関連情報、地元商店等の地域情報、地域エネルギー情報等の行政情報や企業誘致や観光等対外向けの情報を包括的に提供できる地域ワンストップポータルプラットフォームを整備